

## 即応予備自衛官雇用企業主等訓練研修

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 松田辰雄）は、7月14日（金）、15日（土）の両日、駒門駐屯地及び東富士演習場で実施された第31普通科連隊が担任・実施する即応予備自衛官雇用企業主等訓練研修を支援した。

本研修は、即応予備自衛官を雇用する企業主等に対し、即応予備自衛官制度と自衛隊に対する理解を深めるために毎年実施しているもので、神奈川地本から4社6名の企業主等を招待した。

1日目は、隊員食堂での体験喫食に始まり、第31普通科連隊長・矢野1佐による挨拶と概要説明の後に、資料館の見学や74式戦車の体験搭乗が行われ、戦車の砲塔の大きさや走行時の加速や揺れ、轟音に対し、企業主から驚きと歓声が聞かれた。

2日目には、即応予備自衛官が実施する重迫撃砲射撃訓練が行われ、射撃陣地からの正確で迫力のある弾着状況を同連隊第1科長の説明を受けながら双眼鏡で熱心に見学していた。

参加企業主からは、「即応予備自衛官の訓練の大変さと重要性を再認識した。会社としてもできる限りの支援をしていきたい」との感想をいただき、充実した訓練研修となった様子であった。

神奈川地本は、「今後もあらゆる機会を活用して雇用企業主への即応予備自衛官制度及び自衛隊に対する理解促進を図り、即応予備自衛官の勢力確保の資とするともに、訓練への出頭環境の向上に繋げていきたい」としている。



迫撃砲を研修する雇用企業主



74式戦車の前で記念撮影する雇用企業主

## 神奈川県防衛協会青年部会部隊研修を支援

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 松田辰雄 1等海佐）は、7月23日（日）、海自横須賀教育隊、第31普通科連隊及び護衛艦「むらさめ」において、神奈川県防衛協会青年部会が招へいた高校教諭3名に対する部隊研修を支援した。

当初、海自横須賀教育隊では、学生が消火訓練等を実施する応急訓練場や日頃教育を受けている教場を見学した後、松田本部長による自衛官募集の現状や募集制度に関する講話を実施した。その中で広報官の活動に触れ、「広報官は、募集対象者それぞれの事情を理解しながら、不安や悩みを丁寧な声かけで、熱意とハートで彼らと向き合っている。安心して、そして信じてほしい」と述べた。

続いて、第31普通科連隊において、軽装甲機動車等の装備品を見学した後、高機動車で駐屯地内を一周する体験試乗を行った。参加者は、普段身に付けることのない中帽（ヘルメット）をかぶっての試乗に、大変興味を持った様子であった。

午後は海軍カレーを食べた後、海自横須賀基地に移動して護衛艦「むらさめ」に乗艦、乗員から護衛艦の砲やミサイルの説明を受けた。

参加者からは、「様々な研修を通じて、馴染みの薄かった自衛隊について知ることができ、有意義な時間を過ごすことができた」との声を聞くことができた。

神奈川地方協力本部は「今後も、自衛隊の活動に対する更なる理解を得られるよう、引き続き同協会との関係強化に努めていく」としている。



横須賀教育隊での記念撮影



本部長講話